

授業科目名	スポーツ障害・コンディショニング特殊研究演習	授業形態	演習	授業科目区分	専門科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	藤井 康成			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	スポーツ外傷・障害の診断、治療、予防に必要な知識を習得しながら、実際のメディカルチェックの手技を理解し、その結果を解析するとともに、治療法やコンディショニングの処方内容についても解説する。また、具体的な症例を通して、コンディショニングのためのトレーニングを計画し、その効果を、演習を通して学ぶ。				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 出席状況(40%) 授業への取り組み状況(20%) レポート等の提出状況(40%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	提出されたレポートの内容を評価する。出席・授業への取組状況についても評価の対象とする。				
テキスト、教材 参考書	(本)Therapeutic Exercise for Lumbopelvic Stabilization, 2nd edition Richardson C.et al (Churchill Livingstone) (論文)藤井康成：マルアライメント症候群の予防 - 骨盤のmobilityの新しい評価法の有用性 - . 臨床スポーツ(文光堂)、2007年 藤井康成：ハムストリングのタイトネス評価時に簡便に行える骨盤のmobilityの評価法 . 日整会スポーツ会誌、2006年				
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッセージ含む)			
オフィス・アワー	随時 保健管理センター				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)
1	藤井 康成	スポーツ外傷・障害の診断：上肢1手、手関節、肘関節(診察法について解説ならびに演習を行う)			
2	"	スポーツ外傷・障害の診断：上肢2肩関節および肩甲帯(診察法について解説ならびに演習を行う)			
3	"	スポーツ外傷・障害の診断：体幹1頸、胸椎(診察法について解説ならびに演習を行う)			
4	"	スポーツ外傷・障害の診断：体幹2腰椎(診察法について解説ならびに演習を行う)			
5	"	スポーツ外傷・障害の診断：下肢1骨盤、股関節(診察法について解説ならびに演習を行う)			
6	"	スポーツ外傷・障害の診断：下肢2膝関節(診察法について解説ならびに演習を行う)			
7	"	スポーツ外傷・障害の診断：下肢3下腿、足(診察法について解説ならびに演習を行う)			
8	"	メディカルチェック法(実技)：関節可動域、関節弛緩性の評価			
9	"	メディカルチェック法(実技)：上下肢、体幹のタイトネスの評価			
10	"	メディカルチェック法(実技)：体幹、下肢のアライメントの評価			
11	"	最近話題のトレーニング：コアトレーニングに関する英文教科書の抄読会1(コア理論の理解)			
12	"	コアトレーニングに関する英文教科書の抄読会2(コアトレーニングの実践)			
13	"	正しいコンディショニング法1：上肢(肩関節・肩甲帯)(インナーマッスルトレーニング)			
14	"	正しいコンディショニング法2：体幹・下肢(股関節および足部のトレーニングを中心に)			
15	"	総括と評価			